

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

♪ジョイコン NEWS ♪

第55号 (2022年8月)

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

会場を港北公会堂に移して再開後も、新型コロナウイルス感染症予防対策のため終演後のアンケートは休止しておりました。

しかし、主催者にとってお客様のお声を聞けないことはもどかしく大変残念なことです。そのため、前回の7月公演より紙のアンケートの代替として「Web アンケート」を実施することにいたしました。

このメールマガジンでも、お寄せいただいたご感想やご意見をご紹介します。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」(第55号)をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】次回コンサートのご案内
 - ◆第58回コンサート
- 【2】今後の予定 (先取り情報)
 - ◆第59回コンサート
- 【3】楽器よもやま話～クラシックギター
- 【4】コンサートのアンケートから

【1】次回コンサートのご案内 (予約受付中)

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◇2022年9月18日 (日曜日) 14時開演

◇出演：小暮浩史 (ギター)

◇プログラム (予定)

◆F. ソル：魔笛の主題による変奏曲 作品9

◆M. リョベート編：カタルーニャ民謡曲集より

◆M. de ファリャ：ドビュッシー讃歌

◆J. S. バッハ：BWV998 ニ長調 (プレリュード、フーガとアレグロ)

◆F. タレガ：アルハンブラの思い出

◆A. バリオス=マンゴレ：大聖堂 (1. 前奏曲 2. 宗教的な祈り 3. 荘重なアレグロ)

◆R. ディアンス：リブラソナチネ (1. インディア 2. ラルゴ 3. フォーコ)

◇料金：大人・高校生 2,000円、中学生以下 1,000円

◇会場：横浜市港北公会堂 (東急東横線 大倉山駅より徒歩7分)

(会場が変更になっています)

第58回ジョイフルコンサートは

『ギター三百年の歴史をたどる～珠玉の名曲を解説とともに』

と題して、お届けします。

小暮浩史さんからメッセージが届いています

長かったコロナ禍にも収束の兆しが見えてきて、音楽活動も徐々に再開されてきたことを大変嬉しく思っております。

今回は「ギター300年の歴史をたどる」と題して、有名曲を軸にクラシックギターの優しい音色をお楽しみ頂きたいと思っております。

ギターの魅力はなんと言ってもその音色の美しさだと思っております。

是非、生で会場でその音に耳を傾けてください。

皆様とお会いできることを楽しみにしております。(6月30日小暮浩史)

第58回のジョイフルコンサートは、小暮浩史さんのギターソロ演奏です。

「ギター300年の歴史」がテーマです。ヴァラエティに富んだ演奏をお聴きいただ

けるとと思います。どうぞお楽しみになさってください。

●M. de ファリャ：ドビュッシー讃歌

★M. de ファリャ

ファリャはスペインのピアニスト、作曲家です。
ピアノの演奏でファリャの曲を聴く機会が何度かあって、今回取り上げようと思いました。

ファリャはマドリード音楽院でピアノを専攻し、とても優秀な成績を修めました。
更に作曲を学び、スペイン民族音楽への興味を深めていきます。
特にアンダルシア地方のカンテ・ホンドに興味を持ち、ファリャの曲にその影響が見られるそうです。

カンテ・ホンドとは17世紀から18世紀にアンダルシア地方に住み着いたジプシーが酒場、劇場などで、歌い手、ギター演奏者、踊り子一人ずつで行われる演奏形態が始まりです。フラメンコの歌のようなものではないでしょうか？
悲恋の苦しみや、人生の絶望など嘆きの心情を吐露するものだそうです。

ピアノ曲「火祭りの踊り」が割とよく演奏されますが、激しいリズムと和音の使い方が、フラメンコを思い起こさせます。

1907年からパリに滞在し、ドビュッシー、ラヴェル、アルベニスなどの作曲家と交友関係を結び、印象主義の影響を受けました。

第1次世界大戦が始まるとスペインに戻り、代表作のバレエ音楽「恋は魔術師」「三角帽子」を作曲しました。
このころの曲は印象派と民族主義がバランスよく混在していると言われています。

1936年のスペイン内戦が始まると、親友が反体制思想と思われたため銃殺されてしまい、そのことでスペインに絶望したのでしょうか、アルゼンチンに亡命し、アルゼンチンで亡くなります。
その後遺体はスペインに戻されて、国葬が行われ、カディス大聖堂に埋葬されました。

★ドビュッシー讃歌

原題は「Homenaje pour "Le Tombeau de Claude Debussy"」で直訳は「ドビュッシーの墓のための讃歌」です。

パリに滞在していた頃、ファリャはドビュッシーと音楽仲間で、多くの影響を受けたと思われます。

ギターのために作られた曲で、多くのギタリストに演奏されています。
同じメロディーが少しずつ形を変えて進んでいく曲です。
やはり暗めの曲なので、夜静かに一人で聴くのに合った曲だと思いました。

最後の部分にドビュッシーのピアノ曲集「版画」の中の「グラナダの夕べ」の旋律が使われています。
ファリャのドビュッシーへの尊敬の気持ちが伝わってきますね。

ピアノ曲、管弦楽曲の編曲も行っています。

楽譜を探してみようかと思っています。(A.N)

■予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

【2】今後の予定（先取り情報）

★☆☆第59回コンサート☆☆

◇2022年11月20日（日曜日）14時開演

◇出演：都築惇（サクソフォン）、AKI マツモト（ピアノ）

◇プログラム（予定）

◆E. ボザ：イタリア幻想曲

◆O. メシアン：クロツグミ

◆M. ラヴェル(D. ワルター編)：ソナチネ

◆T. ケウリス：カンツォーネ

◆F. デュクリュック：ソナタ

ほか

◇予約受付開始：2022年9月19日（月曜日）午前9時より

★プログラム等詳細は順次、本紙面、ウェブサイト、チラシ等でお知らせします。

【3】楽器よもやま話～クラシックギター

ギターのように弦をはじいて音を出す楽器を撥弦楽器(はつげんがっき)といいます。リュート、マンドリン、ハープや日本の箏、三味線、琵琶なども撥弦楽器です。

古代エジプトの、紀元前3000年頃に描かれた絵に、ギターによく似た撥弦楽器が描かれているそうです。その後おそらくこの楽器がさまざまなかたちに作り変えられつつ、世界に広まっていったものと想像されます。

1800年代になって現代のギターの先祖である6単弦の楽器がヨーロッパで普及しました。

しかし、製作者によって形状もサイズもさまざまで、しかも現在のものより小ぶりで音量も乏しい楽器でした。

それを大きくして音の面でも改良したのが、1817年にスペインで生まれたギター製作家、アントニオ・デ・トーレス(1817~1892)です。

彼は、弦やボディの長さを伸ばし、ボディの幅も広くして音質と音量が大きく改善した現代ギターの基礎をつくりました。

彼の改良により、クラシック・ギターの基本的な形状はほぼ完成したと言われてい

ます。

ニコロ・パガニーニ(1782~1840)といえば悪魔的な技法で聴衆を魅了した天才ヴァイオリニストとして有名ですが、実はなかなかのギター奏者でもありました。

彼は、演奏旅行のときにも常にギターを持ち運び、折に触れて弾いていたといいます。実際、ギター独奏用の作品、あるいはギターとヴァイオリンの二重奏作品を、いくつも作曲しています。

パガニーニとギターの関係については、もっと重要なことも指摘されています。彼は、その独創的なヴァイオリン技法のある部分を、ギターの奏法を応用して編み出したというのです。

そういわれてみると、パガニーニがヴァイオリン曲で多用しているフラジオレット(ハーモニクス、倍音奏法などと呼ばれる技法)や左手指で弦をはじいて演奏する技法など、非常にギター的といえそうです。

往年の名画「禁じられた遊び」(1952年/ルネ・クレマン監督)といえば、その映像とともに全編を彩るギターによる主題曲を思い出す方も多いのではないのでしょうか。この名作映画をたったひとりで支えたのは、当時まだ20代の若手ギタリストだったナルシソ・イエペス(1927~1997)でした。

たまたまパリのカフェで2人が出会ったとき、クレマン監督はすでに「禁じられた遊び」の映像を撮り終わっていて、予算を使い果たして音楽が付けられないというピンチ状態だったそうです。

相談を受けたイエペスが、それならわたしがということで、ギター1本で、期待以上の効果を挙げてみせたとのエピソードが残っているそうです。

イエペスはこの1曲で、世界に知られるギタリストになりました。(でくのぼう)

【4】コンサートのアンケートから

★前回(7月17日)のコンサート：嘉目真木子(ソプラノ)、高田恵子(ピアノ)

『あなたへ贈る歌～あなたの大切な人は誰ですか…?』は如何でしたか？

今回から紙のアンケートの代替として「Web アンケート」を実施することにいたしました。ご回答数が少ないため参考結果とさせていただきます。

アンケートでの質問「今回のコンサート内容はいかがでしたか？（５段階評価）」に対し、「大変良かった」側の「５」と「４」の回答で「３～１」はありませんでした。

自由記入欄（ご感想など）には、

『冷房がきつかった』『前半は会場がとても寒かった』とのご指摘がありました。公会堂スタッフに温度調節を依頼しましたが、即効性が期待できないため公演当日は冷房の「一時停止」での対応となりました。また『トーク中ではなく演奏中に飴を開ける方があちこち見受けられ、大変気が散りました』との苦情を頂きました。開演前のアナウンス等で、“注意喚起をお願いする”ことに致します。

なお、「Web アンケート」以外ですが、予約電話に SMS で下記のご感想（原文のまま）を頂きました。

-----大倉山ジョイフルコンサートご担当者様へ-----

先日の「嘉目真木子さん」のコンサート、さすが先生をされておいでのことで、トークも楽しい、特に、ヒナステラのハバネラに乗せた曲は気持ちをふわりと乗せてしまうスペイン独特の曲調を持っていて、印象的でした。それにしても、今回のコンサートの成功に、あのピアノリードは欠かせない、凄い。いつも手作りの温かみのあるコンサートが更に榮えますように。以上、お礼まで

主催者にとっても嬉しいコメントです。

【編集後記】

安倍元首相が銃で撃たれて亡くなるという大変ショッキングな事件が起きました。日本でこんなことが起きるとは全く思っていませんでした。そんな時 SNS で「Imagine」の演奏が流れてきました。歌詞がとても沁みるんですね。「国もなく、殺したり死ぬ理由もないし、宗教もない。ただみんな平和に毎日を過ごしているだけ。」ジョン・レノンが銃弾に倒れたのはもう４０年前の事ですが、未だにこの曲に思うところがある方は多いのではないのでしょうか？ご冥福をお祈りします。(A.N)

※このメールマガジンは、

大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

<mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

■メールマガジン♪ジョイコン NEWS♪の感想などお寄せください。

<mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール <mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

携帯電話 080-8424-5108

URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>